

八尾市循環器健診50周年記念式典

日時 平成25年10月7日(月)

13:30開式(受付13:00~13:30) 15:30閉式予定

場所 八尾商工会議所 3階 大ホール1・2

1. 開会
2. 式辞(八尾市長)
3. 来賓祝辞
4. 来賓紹介
5. 表彰状・記念品贈呈
6. 基調講演「地域の人々と共に一脳卒中、心臓病予防の50年」
筑波大学 名誉教授 小町 喜男 氏

7. シンポジウム
「八尾市のこれからの健康づくり
～循環器病対策の成果をふまえて、健康を次世代につなぐ～」

シンポジスト：大阪大学大学院医学系研究科教授 磯 博康 氏
大阪がん循環器病予防センター副所長 北村 明彦 氏
大阪がん循環器病予防センター循環器病予防健診部長 木山 昌彦 氏
南高安地区成人病予防会顧問 乾 清次 氏
南高安地区成人病予防会健康教室OB会会長 北島 敬子 氏
八尾市健康福祉部保健推進課参事 辻 京子 氏

8. 閉会の辞

市長挨拶



このたびは、本市における循環器健診50周年にあたり、このように盛大に記念式典を開催できましたことに深く感謝申し上げます。

本市における循環器健診は、昭和39年1月、最初のモデル地区である曙川地区においてはじまり、その後長年にわたり南高安地区を中心に、各地区で実施し、今年度(平成25年度)で50周年を迎えることとなりました。

これもひとえに小町喜男筑波大学名誉教授をはじめ、大阪がん循環器病予防センターのご協力、並びに地域の皆様方の地域力の賜物であり、深く感謝と敬意を表する次第であります。

さて、50年もの長きにわたり、循環器健診を行ってきました結果、実施地区では、健診受診率が上昇し、生活習慣病の有病率の減少、および医療費の低下が成果として現れております。一方で、全市的には高血圧に起因する脳卒中や虚血性心疾患が多くみられることから、より一層の予防のためにも循環器健診をはじめとした予防対策が非常に重要であると考えております。

本市といたしましては、「八尾市第5次総合計画」のもと、すべての市民が健康で生き生きと暮らせるまちの実現をめざし、市民が主体となった健康づくりを促進する取組みを行うとともに、地域が一体となって健康づくりに取り組める環境づくりを進めているところです。皆様方におかれましては、本会を通じて、本市循環器健診について知っていただくとともに、更なるご支援・ご協力をお願い申し上げます。

八尾市長 田中 誠太

基調講演 講師プロフィール

小町 喜男

大阪市出身
筑波大学 名誉教授
大阪府立公衆衛生研究所 名誉所長
公益財団法人 大阪府保健医療財団 名誉顧問
八尾市衛生問題対策審議会委員



【略歴】

昭和27年3月大阪大学医学部卒業。大阪大学医学部公衆衛生学教室を経て、昭和34年6月大阪府立成人病センター勤務。昭和50年1月集団検診第一部長。昭和55年1月筑波大学地域医療学教授。その間に、老化特別プロジェクト長(6年)。平成2年12月退官、名誉教授。平成2年12月より平成8年3月まで大阪府立公衆衛生研究所長。

【役職歴】

厚生省公衆衛生審議会委員(昭和57年~平成2年) 日本循環器管理研究協議会理事
会長(昭和62年~平成3年) 日本公衆衛生学会会長(昭和63年) 大阪府衛生対策
審議会委員(平成6年~平成7年)

【表彰歴】

昭和55年 日本栄養・食糧学会賞
平成11年 保健文化賞
平成13年 勲三等瑞宝章



昭和37年当時、八尾市では脳卒中が死因の第1位でした。この状況を改善するため、脳卒中で亡くなる方の多い地区からモデル地区を選び、循環器健診を中心とする重点的な予防対策を進めることになりました。

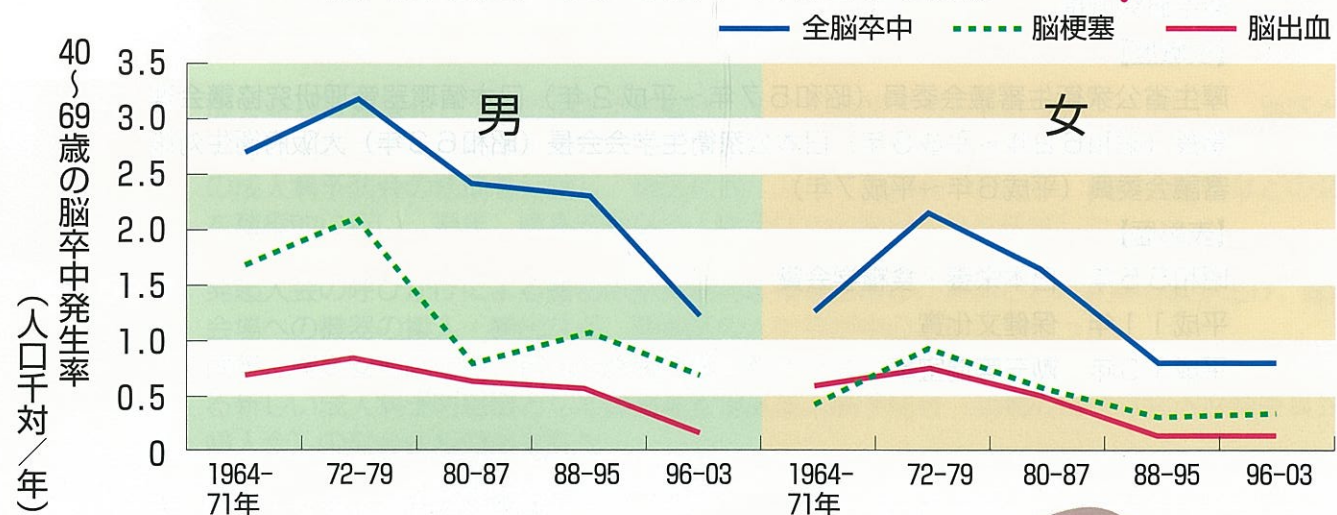
モデル地区での予防対策と平行して、全市を巡回する健診の実施や、会員を募っての健診活動などを行ってきました。

その中でも、昭和40年に始まった南高安地区での循環器疾患予防対策が、昭和52年に住民を主体とする南高安地区成人病予防会に引き継がれ、今日まで活動を一貫して継続しています。

南高安地区における循環器疾患予防対策の成果

健診を中心とした予防対策の結果、
脳卒中は2分の1以下に減りました！

南高安地区における脳卒中発生率の推移



「南高安地区調査データ」より

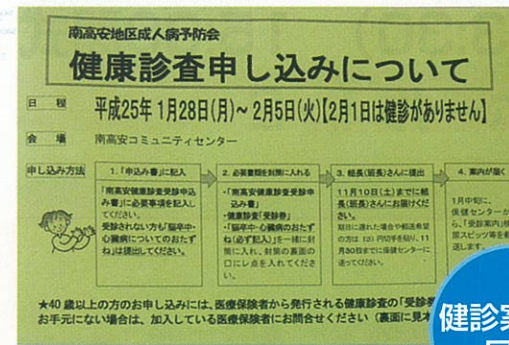
他にも、健診を受けた人のほうが、脳卒中になりにくいこと、なったとしても死亡者が少ないことがわかりました。



住民が主体となった予防対策って、どんなもの？

住民主体の「成人病予防会」が集団健診を中心とした予防活動を実施しています

循環器健診



健診案内の
回覧



受付

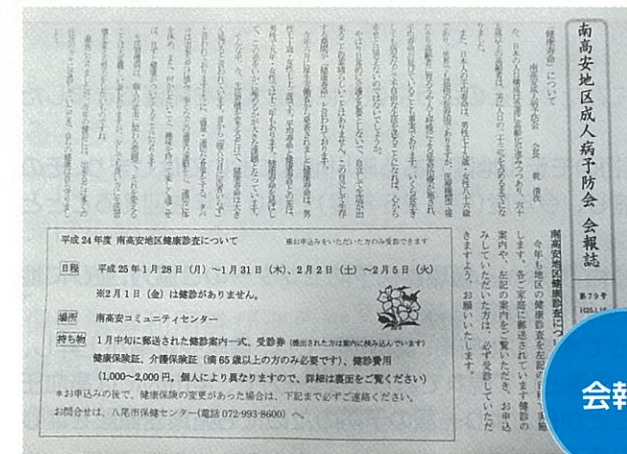


結果の
手渡し



OB会による
啓発活動

健康教室OB会が中心となって、健診受診者に、正しい食生活や日常生活で気をつけることについて、ポスターを使って伝えています。



会報誌

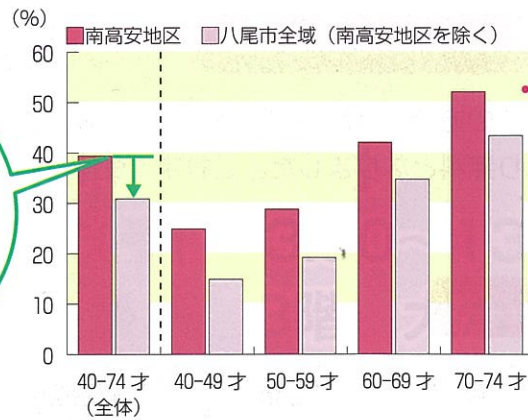


健診のほかにも、会報誌の発行や、歩く会の開催など、地域の健康づくりに積極的に取り組んでおり、その結果、健康意識が高まります！

健診の受診率が上がったことで、こんなにいいことがあります。

1. 健診受診率が高い

特定健診受診率の比較/男女計(平成22年度)



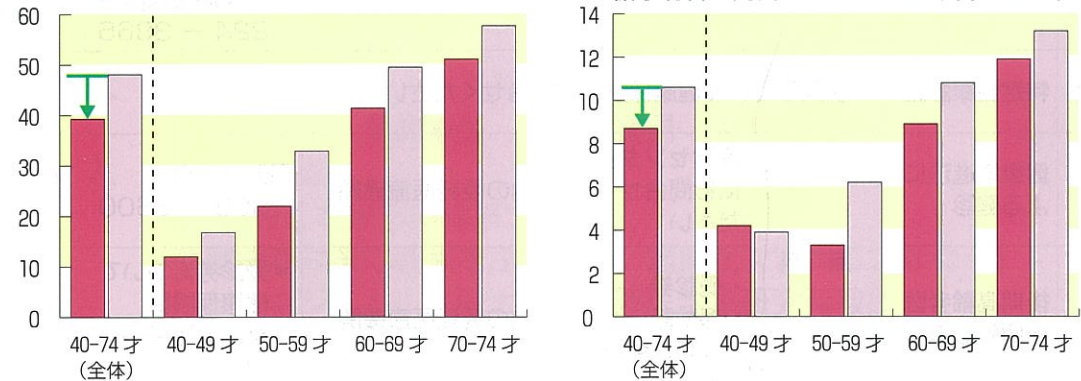
全体で見ると約10%高く特に壮年層で差が大きいです。

自治会組織(成人病予防会)による健診申込書の配布や回収、その際の受診勧奨により、健診受診率が上がっています!

2. 高血圧・糖尿病の有所見率が低い

南高安地区 八尾市全域 (南高安地区を除く)

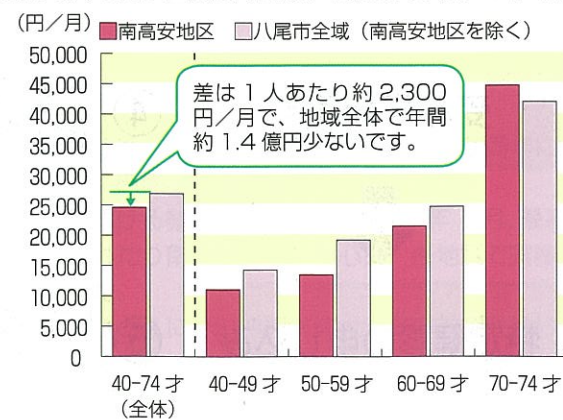
(%) 高血圧者の割合の比較/男女計(平成22年度) (%) 糖尿病患者の割合の比較/男女計(平成22年度)



健診を受けることで、健康意識が高まり、高血圧や糖尿病になる人が少なくなっています!

3. 全体の医療費が低い

被保険者1人あたり医療費の比較/男女計(平成23年1月、2月、6月審査分の平均値)



差は1人あたり約2,300円/月で、地域全体で年間約1.4億円少ないです。

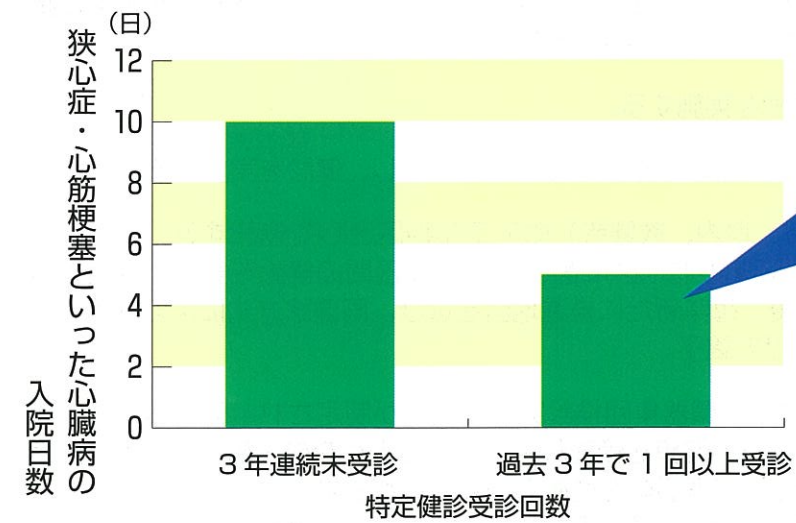
病気になる人(特に若い年代の人)が少ないため、医療費を抑えることができます!!

いずれの図も「行動変容推進事業における医療費分析と行動変容プログラムの作成およびその検証」報告書(平成23年度)より抜粋

だから・・・地域ぐるみで健診を受けましょう!

健診を受けて、循環器疾患の予防につなげましょう

特定健診受診の有無と入院日数との関係(平成24年5月診療分と平成21~23年度特定健診結果より)



定期的に健診を受けることで、生活習慣病を早く見つけることができ、病気がかかっても軽くすみます!!
脳卒中についても、同じ傾向があります。

「八尾市国民健康保険 特定健康診査等 実施計画 第2期(平成25~29年度)」より

健康づくりに一緒に取り組みましょう

住民が主体となった健康づくり活動は、健診受診率の向上、疾病予防、医療費適正化につながります。八尾市では、モデル地区での成果を参考に、集団健診や健康相談と地域における健康づくりリーダーの育成(健康教育の実施)を行うことで、地域住民の健康づくり活動を推進します。

方法

- ①地区組織による、健診の案内の回覧
- ②地区集会所等で集団健診を実施

健診受診率の向上

内容

- 1-①健診や健康相談の実施
- 1-②健診結果説明会と健康相談会の開催

①疾病予防の推進
②重症化予防

- 2-①健康教育の実施
- 2-②健康づくりリーダーの育成

①地域の健康意識の向上
②疾病予防の推進

..... 八尾市循環器健診 50年のあゆみ

昭和 37 年：国民健康保険の赤字に悩んでいた八尾市が、増えつづける脳卒中を予防する手だてについて、大阪府立成人病センター集団検診第一部（当時。以下成人病センター）の小町喜男氏に相談する。八尾市の中で脳卒中死亡率の高い地区からモデル地区を選定し、循環器健診を中心とする重点的な予防対策を実施することを決定する。

昭和 38 年：脳卒中死亡率の高い地区の中でも、熱心な住民リーダーがいる、曙川地区をモデル地区に指定する。同年、八尾市を中心に成人病対策協議会を結成する。

昭和 39 年：曙川地区にて、第 1 回循環器健診を実施する。

昭和 40 年：南高安地区のうち、恩智地区と神宮寺地区をモデル地区に追加し、健診を実施する。

昭和 41 年：南高安地区の残り 3 地区（黒谷、垣内、教興寺）もモデル地区として追加する。また、モデル地区以外に八尾市内の 3 地区を推進地区に選び、延べ 8 日間の健診を実施、要管理者に対しグループ指導を行う。以後、毎年新たに推進地区を選び、同健診方式による健診・管理を進め、全市の健診を 9 年かけて終了。

昭和 50 年：①成人病対策協議会にて、「八尾市循環器集団検診実施要綱」が制定され、モデル地区以外の市民に対しても自らの意思で自らの健康を管理しようとする人々を成人病予防会の会員として募り、その会員に対する健診・管理活動を進めていくことが決まった。

同年、会員を対象とした成人病センターの多項目健診が開始された（会員については、各地区の自治振興委員会、老人会、婦人会などで、申し込みは 10 人以上のグループを単位とした）。

②曙川地区は、勤務者の増加とともに人口の移動が激しくなり、次第に継続的な健診・管理の実施が困難となったため、モデル地区を終了する。

昭和 51 年：成人病対策協議会で、他の地区に先駆け、モデル地区である南高安地区において、地区としての成人病予防会の結成を急ぐことが決議された。八尾市と成人病センターは南高安地区での成人病予防会の結成を目指し、地区住民に対して講演会や説明会、資料の配布などの活動を積極的に行い、翌年、南高安地区成人病予防会の発起人会を結成した。

昭和 52 年：発起人会の呼びかけによる最初の南高安地区循環器健診が実施され、会場の借り上げ、設営、会場への機器の搬入・搬出など、同地区の人たちが中心となって行った。

同年、南高安地区では、自らの健康管理に熱意のある住民が主体となり、自分たちで運営する新しい成人病予防組織としての南高安地区成人病予防会（活動の母体は自治振興委員会と婦人会）の発会式が開催された。

昭和 57 年：①老人保健法が制定される。

②八尾市衛生問題対策協議会成人病対策部会において、八尾市の一般地区の循環器健診は、モデル地区において実施している循環器健診とともに、老人保健法における基本健康診査として実施していくことが決まった。また、実施方法については、八尾市保健センターと成人病センターにおいて、集団健診方式で実施するとともに、地元の開業医による個別健診を導入して行うこととなった。

平成 20 年：循環器疾患予防対策は、老人保健法に基づき、南高安地区成人病予防会を対象とする健診と、一般地区住民を対象とする健診が実施されていたが、制度改正により、各健康保険者が実施主体となる特定健康診査に変更となった。南高安地区成人病予防会を対象とする健診は、従来どおり、国民健康保険加入者のみならず、国民健康保険加入者以外の住民も受診できる形で、引き続き実施されている。

平成 24 年：集団健診（特定健診・がん検診）や健康相談と健康リーダーの育成の取り組みが曙川東地区、竹濑地区で開始された。

特定健診とは

40歳～74歳までを対象として、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に着目した生活習慣病（糖尿病・高血圧など）を予防するための健診です。健診結果から生活習慣病を見直すための特定保健指導を受ける対象者が選定されます。対象者になれば、生活習慣の改善が必要です。できるだけ特定保健指導を受けてください。

八尾市国民健康保険加入の方の特定健診が無料になりました

※職場などの健康保険は、ご加入の健康保険の負担額になります。

八尾市国民健康保険加入者の 40 才～64 才の方で、市民税課税世帯の方、及び途中加入の方は、1,000 円の自己負担がありましたが、平成 25 年度より無料となりました。これまで受診されていなかった方も、是非、この機会にお受けください。

生活習慣病予防のための健診を受けましょう

健康保険の種類等	年齢	健診の種類	費用	持ち物	受診場所	お問合せ先
八尾市国民健康保険	40～74歳	特定健康診査	無料	・受診券 ・保険証 ・介護保険証 (65歳以上の方)	府内の委託医療機関	* 健診内容について 保健センター 993 - 8600 * 受診券について 健康保険課 国民健康保険係 924 - 3865
職場などの健康保険	40～74歳	特定健康診査	* 加入している健康保険にお問合せください			
生活保護受給者	40歳以上	健康増進法による健診	無料	保健センターにお問合せください	市内の委託医療機関	保健センター 993 - 8600
後期高齢者医療保険	75歳以上	後期高齢者医療健康診査		・受診券 ・保険証 ・介護保険証	府内の委託医療機関	* 受診券について 健康保険課 高齢者医療係 924 - 3997 *

※ 健診内容については大阪府後期高齢者医療広域連合（給付課）06-4790-2031にお問合せください。

特定保健指導とは

腹囲や血糖、血圧、脂質などの測定結果に応じて、メタボリックシンドロームの予防・解消ができるように専門家が生活習慣改善のサポートを行います。特定健診を受けた結果、メタボリックシンドロームのリスクが高い人に、特定保健指導利用券が送られ、特定保健指導を受けることができます。健診は受けた後が大切です。受診後、特定保健指導の利用券が送られてきたら、必ず生活習慣を見直すサポートを受けましょう。

特定健診受診と特定保健指導を受けるまでの流れ

